



友達になろう

BE A FRIEND

1994—95年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ビル・ハントレー
- 第2560地区ガバナー 大島 精次
- 会長——高橋 一夫
- 副会長——石橋 育於
- 幹事——五十嵐晋三
- 副幹事——松谷 晃吉
- SAA——平原 信行
- 副SAA——清水 良一
- 例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 35-3477
- FAX 32-7095

出席者会員数

会員 79名中 60名

先々週出席率

80.56% (前年同期 85.71%)

ヴィジター

三条南より 大竹光男さん
三条北より 中條耕二さん

先週のメイクアップ

- 1/5 加茂へ 渡辺喜彦さん
- 1/9 三条南へ 加藤紋次郎さん、外山一郎さん、山田富義さん、五十嵐総一さん、長谷川有美さん
- 1/10 三条北へ 斎藤弘文さん、瀬下一三さん

会長挨拶

高橋 (一) 会長

今日は南クラブ、北クラブよりお客様をお迎えいたしております。「ようこそおいでくださいました」。

一昨日の春のような日和から一転いたしまして冬に逆戻りです。これが今年の特徴だそ

うで、寒暖の差が大きいので、風邪などお引きになりませんように。

昨日のテレビニュースでアメリカからリンゴが届いたとのこと。生産者にとっては大変なことだと思いますが、私ども消費者にとっては安くて美味しいものが入るといことは大歓迎でございます。ちなみに今日の食事に出てきましたキウイは本来外国のものだったのですが、こんにち日本の大事な輸出品だそうでございます。

我々は自分たちの出しているもののことは知らないことに驚かされます。規制緩和ということが問題になってきていますが、食品の輸入緩和もウルグアイ・ラウンドの中で求められておるのですが、食品添加物も日本では認められていないものが諸外国では認められているとか、食品の中の抗生物質の残留の問題とかいろいろあるようです。

自動車の車検の問題でもそうですが、規制緩和というものがなくなるということは、逆に我々の商品知識といえますか、自分の身は自分で守るという責任と自覚が求められてくるということにもなるわけです。

単に規制緩和で品物が安くなるということだけで喜んでおれない時代がきているんだなあと実感いたしております。そういうことを政府はもっと国民に知らしめるべきだと思います。事故や問題が起こってからでは遅いのですから。

御報告ですが、大島ガバナーから「社会への思いやり会長賞」というものがきております。各四大奉仕委員長にはよく考えていただければと願っております。

幹事報告 五十嵐(晋)幹事

◎大島ガバナー事務所より クラブ会報委員会地区研修会のご案内がとどいております。

とき 1995年3月18日(土) PM13:00～

ところ 万代シルバーホテル

登録料 10,000円

ニコニコBOX ￥26,000 1月11日分

- 高橋(一)さん 6日にアクトの新年会に出席、楽しい一時をすごしてきました。
- 小林(九)さん 捧さんより頂いた招待券で雪梁舎に行きました。建物も三輪晃久とシャガールの絵、マイセンの磁器、見事でした。又喫茶室のカップ、灰皿などにも感心しました。
- 渡辺(宏)さん 卓話でお耳を汚します。
- 内山(辰)さん 今日はロータリー情報委員として主に米山奨学金制度のお話をさせて頂きます。ご理解下さいます様よろしくお願い致します。
- 関本さん 久しぶりの出席です。今年もよろしくお願い致します。
- 三堀さん 関本さんのお元気な姿を拝見して……。退院おめでとうございました。

- 岩井さん 新年おめでとうございます。
- 小林(英)さん 謹んで新年のお祝辞を申し上げます。会長さん幹事さんのご活躍を期待します。
- 上木さん 明けましておめでとうございます。昨年は皆さんに大変お世話になり、ありがとうございました。
- 五十嵐(総)さん 今年もよろしく。
- 外山(一)さん 明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。
- 長谷川さん 新年おめでとうございます。
- 近藤さん 遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。
- 中村さん 新年おめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。
- 藤田(紘)さん 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。
- 山田さん 新年おめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。
- 佐久間さん 新年明けましておめでとうございます。
- 佐藤(吉)さん 新年あけましておめでとうございます。
- 松縄さん 明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。
- 船越さん 今年初めての例会出席です。今年も宜しく願いいたします。

卓話

渡辺宏策会員

今月はロータリー理解推進月間ということで、情報委員会の担当でお話しさせていただきます。あまりロータリーを理解していない者が推進しようというのですから、私一人では心もとないので、内山副委員長と二人でやらせていただきます。

私は本年度GSEのお手伝いをさせていただきました。先般(11月の初め)この地域でもGSEを受け入れていただき、その節はたいへんお世話になりました。それでGSEに対する地区の取り組みが以前と変わりましたので、その辺の話をさせていただきます。

1975、6年くらいは5年に1回の割合だったのですが、その後1985年から3年に1回になり、それが吉野ガバナーの時から2年に1回になりました。そして細淵ガバナー年度と今年、来年と毎年やるようになりました。

GSEはロータリー財団の一般寄付で行われます。3年くらい前からシェアシステム



という形で財団の60%が地区に戻りまして、それが地区の財団活動資金として留学生の派遣に使うわけです。残りの40%に国際財団活動資金(WF)として、これでその他の財団のいろいろな活動を、その地域に合った活動に使うということになっております。

この地区ではWFの資金をほとんど全部GSEに使うということになっています。その地域によりましていろいろなのですが、GSEはかなり経済的な負担が掛かりますので限定された地区になると思いますが、こちらに地区ではそういうことになっています。

国際財団活動資金ですからロータリー財団本部の方が主管いたしまして、それを各地区がお手伝いするということになっております。財団の目的の中に国際レベル人道的プログラムと教育的プログラムというのがございますが、GSEは後者に当たります。

派遣される人材は、事業及び専門職に携わる優秀な人ということです。以前は優秀な青年ということで年齢制限があったのですが今は年齢制限はございません。現に先頃も五十代の方がおみえになりましたことは記憶に新しいところです。

交換をすることによりまして国際親善、友好を深め、しいては平和のためになるということが目的であるわけですが、これが非常に有効だということで、財団の方で出来る限り頻繁にやりなさいということになりました。

GSEの経済的負担ですが、財団の受け持つもの、地区、各クラブ、チームの人達が受け持つものが明確に分けられております。ロータリー財団は出国から帰国までの航空運賃(エコノミークラス)のみ。後は地区が持つ。そして各クラブが引き受けた時点からは次のクラブに引き渡すまではそのクラブの負担。個人はプライベートな経費、保険を負担する。このようになっております。

地区ではGSEをやりまして、その決算を財団本部に報告することになっております。経費を節約して頻繁にやるようにとの指導です。地区の経費節約と受け入れクラブの負担軽重は関係ないことですから、その点をご理解いただきたいと思っております。

加えて会員の拠出金が600円から1200円に増額されたこと、会員が増えたことやらで、地区の方も毎年GSEを出来るようになりました。

橋本年度(イギリス)775万円。昨年は685万円。そして今年は何とか他の資金を使わずに拠出金の650~60万円の内で行うと、交通費節約のため委員会を群馬、新潟別々に開くとか、飲み食いをなくするとか、いろいろ節約に努めました。

GSEを受け入れするにも経過があるわけです。ガバナーノミニニーが世界協議会に行きまして、そこで大体の話をつけてきます。そして地区の各クラブの3分の2以上の賛成をもらわないとできないということになっております。

今年度地区大会におきまして、来年度もGSEを受け入れると宣言されたわけですが、それは事前に決議されたという経過があるわけです。その決議に基づきましてロータリー財団の許可を得るわけです。

ちなみに来年度はノルウェーの地区と交換することになるようです。その節はよろしくお願いいたします。

米山奨学金

渡辺委員長から「お前は米山奨学金の話をしろ」と言いつけられました。

米山記念奨学金は米山梅吉翁が亡くなられた昭和28年に東京クラブで発足いたしました。外国の学生さんを援助するというこの制度は民間では最大規模です。しかし諸外国に比べると日本は留学生を受け入れるという体制がまだ遅れております。国際親善、国際理解という面からも大事な事業ですので国の方でもしっかりやっていただきたいものです。

28年に始まりまして、33年には8名、38年には48名の方を受け入れてまいりました。63年には約500名。昨年は900名。今年も900名目標でございます。累計で約10000名の方を受け入れたこととなります。

先の大戦でわが国は大きなご迷惑をアジアの諸国におかけいたしました。その僅かなお詫びのしるしでも言いますか、アジアの国々の皆さんのお役に立つ、そういうものを米山奨学金が果たしておるものと信じております。

奨学生は圧倒的にアジアの学生さんです。あと中南米、アフリカ、ヨーロッパ、オセアニア、中近東から僅かですが受け入れております。

寄付金は普通寄付金と特別寄付金とからなっております。普通寄付金の方は皆さんの年会費から年額3000円を拠出させていただいております。

特別寄付の方は個人と法人とございます。個人は功労者30万円。準功労者は3万円。3万円に満たない場合は個人名でクラブで積み立てをいたしまして、3万円になったら本部に送り表彰させていただきます。米山ファンドフェローは5万円です。

法人の方は35万円を米山功労法人。35万円を3回(105万円)、又は一回で100万円を米山特別功労法人になります。

クラブ単位では100万円ごとにクラブ表彰されます。我が三条クラブは1379万3000円ということになっております。新潟地区では3番目。2560地区では9番目。これが昨年までの実績です。

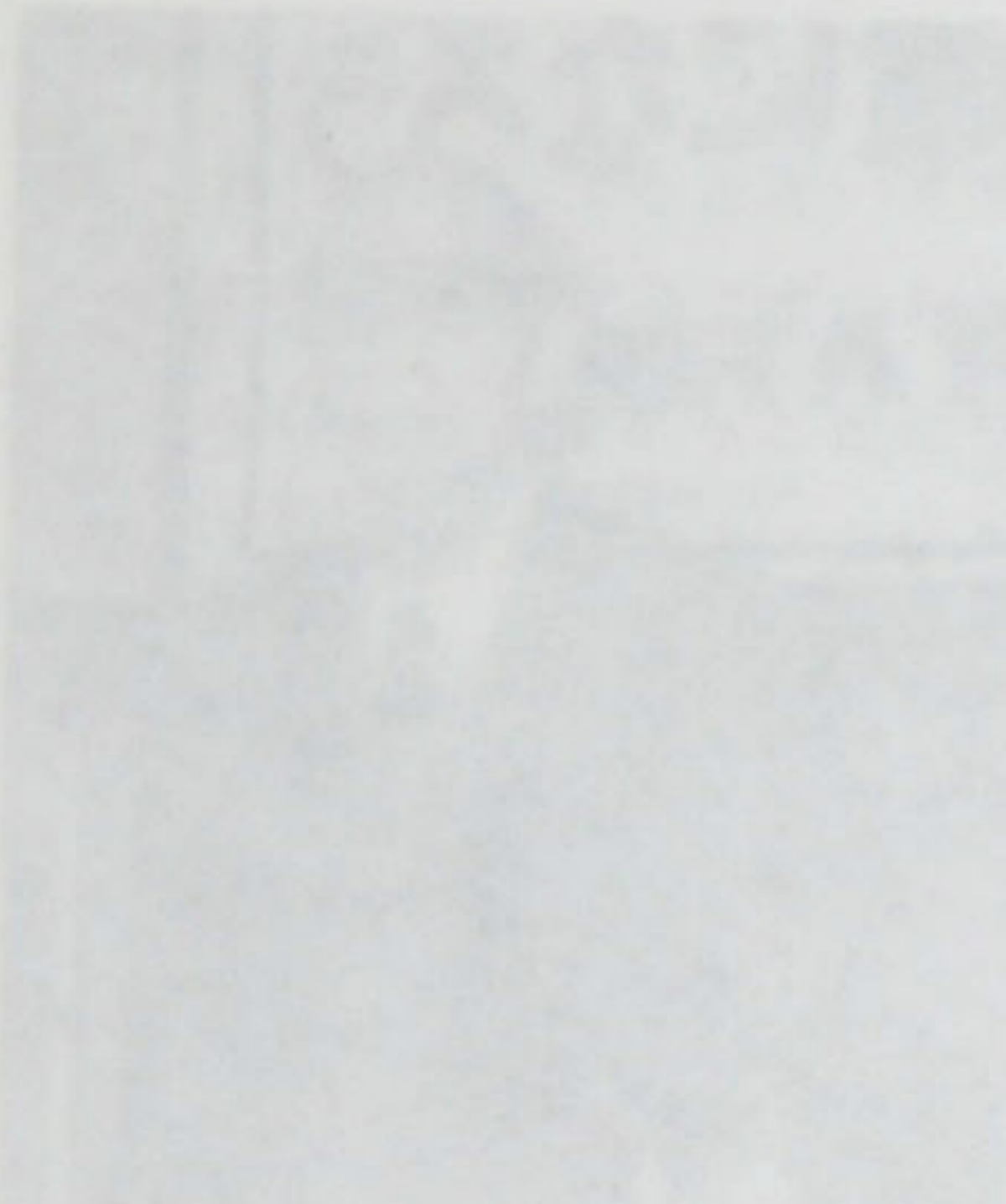
先程も池田先生に米山ファンドフェローになっていただきました。ありがとうございます。皆様も米山の意義を深く御理解いただき、御協力いただけますようお願いいたします。

内山辰策会員



とふるに、この地域の発展に資する事業に積極的に取り組むことにより、地域の発展に大きく貢献するものと期待されています。残りの40%は、同地区の発展に資する事業に積極的に取り組むことにより、地域の発展に大きく貢献するものと期待されています。

員会東部山内：WJの資金をほとんど全部GSEに使うという方針で、**金半 山内**



「言ひしよ、この地域の発展に資する事業に積極的に取り組むことにより、地域の発展に大きく貢献するものと期待されています。残りの40%は、同地区の発展に資する事業に積極的に取り組むことにより、地域の発展に大きく貢献するものと期待されています。」

この地域の発展に資する事業に積極的に取り組むことにより、地域の発展に大きく貢献するものと期待されています。残りの40%は、同地区の発展に資する事業に積極的に取り組むことにより、地域の発展に大きく貢献するものと期待されています。

三条RC	1月18日例会	卓話	山田富義会員
	1月25日例会	卓話	高橋政志会員 会場 VIP
	2月1日例会	卓話	小越憲泰会員 会場 VIP
三条南RC	1月23日例会	卓話	田中久作会員
	1月30日例会	新年会	PM 6:30~ 於 魚作
	2月6日例会	卓話	小金沢義雄会員
三条北RC	1月24日例会	新年会	PM 6:30~ 於 さどや
	1月31日例会	卓話	江口会員、南部会員
	2月7日例会	卓話	中條耕二会員